

スポーツの盛んなまち

市では、味の素スタジアムをホームスタジアムとしているサッカーチームのFC東京、調布市をホームエリアの一つとするラグビーチームの東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスのほか、プロ野球球団の読売巨人軍、NTT東日本バドミントン部等のトップスポーツチームや競技団体等との様々な連携事業を実施し、市民のスポーツへの関心や、日常的にスポーツに親しむきっかけを創出しています。



FC東京 調布市制70周年記念 Day



東芝ブルーパス東京優勝記念展示会



読売巨人軍 調布市フェスティバルジャイアンツタウンスタジアム

東京2025デフリンピックが開催されたまち

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことで、デフ(Deaf)とは英語で「耳がきこえない」という意味。デフリンピックは、耳のきこえない・きこえにくいアスリートのための国際総合スポーツ競技大会です。

ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック、東京2025デフリンピックの全てが開催されたのは、全国の基礎自治体のなかで調布市のみで、市ではこれらの国際大会を契機としたスポーツ振興や共生社会の充実に取り組んでいます。

デフリンピックに向けた取り組み



デフリンピック バドミントン競技の表彰式



大会の盛り上がりの様子

水木マンガの生まれた街 調布

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者として広く知られる調布市名誉市民・水木しげるさんは調布の地で多くの作品を生み出しました。その功績をたたえ、命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」と命名し、毎年様々な催しを行い、全国から多くのファンが訪れています。



「水木マンガの生まれた街 調布」についてもっと知る



©水木プロ

観光・歴史・文化

深大寺 じんだいじ

733年に開創されたとされる深大寺は、平成29年に国宝指定された釈迦如来像(白鳳仏)などの貴重な寺宝で知られています。

最近では、SNSで流行中の「#自然界隈」と呼ばれ、都会で味わえない自然や癒しに触れることのできるスポットとして若者を中心に話題のエリアとなっています。



「深大寺」についてもっと知る



深大寺 国宝 釈迦如来像 (しゃかにょらいぞう)

地球の歩き方調布市 (都内では初の市販)

調布市制施行70周年を記念し、調布市と地球の歩き方がタイアップして『地球の歩き方 調布市』が発売されました。



調布花火

多摩川で開催される調布花火。実はその歴史は古く、初めて開催されたのは昭和8年のことです。その後、昭和57年から調布市花火大会としての歴史が始まりました。ノンストップで打ち上がる約1万発の花火が、調布の夜空を彩り、調布名物として親しまれています。



映画のまち調布



「映画のまち調布」についてもっと知る

市は、昭和初期に撮影所が設立されて以降、「映画のまち」としての歴史を歩んできました。市内の映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や多くの事業を展開しています。



フィルムコミッション

テレビ・映画などの撮影支援(フィルムコミッション)を積極的に行うことで、ロケを通じた観光振興(ロケツーリズム)を図っています。その一環として、人気ドラマなどのロケ情報に加え、観光・グルメ情報などを掲載したロケ地マップを発行しています。

